

一年間の活動を終えて ～地区委員の声～

■豊ヶ丘地区委員会

■青少協を一年間経験し武内会長をはじめ経験のある方々から温かくご指導頂き感謝しております。同じ年頃の子どもを育てる親として共通点が多い方々とは横の繋りと共感が持て、お互いに様々に相談し協力しあえることができました。安全パトロール、あいさつ運動、ニュースポーツ大会、どんど焼きなどの大きなイベントでは、子ども達に良い環境で行われました。何より子ども達が、イベントで仕事をこなし、楽しむ様子は、他では得られない達成感があったと思います。先生方、保護者の方、関係各位の皆様へ感謝致します。■定例会やパトロール、様々な行事を通して、地域の方々とつながりが子育てに大切だと改めて感じることができました。1年間、ありがとうございました。■青少協の仕事は正直言えば大変でした。でも行事がひとつまたひとつ終わると大変だったけど、大変なことばかりでもなかったなあ、って実感しました。■大変なこともありましたが、新たな出会いもあり良い経験になりました。ありがとうございました。■今回初めて役員をやらせて頂きました。やるまでは、青少協は集まりが平日の夜で大変だよ。と話を伺ったことがあります。やってみてわかった事は、言うほど大変ではないと言う事です。豊小の青少協は、人数が多い分全ての集まりに参加するのではなく、イベント毎に人数を割り振り自分が担当したイベントのみ集まりに参加、またみなさんお仕事をしていられるので、都合がつかない方は欠席して頂き参加できる方が集まる。という風になっていたの、苦ではありませんでした。ただ、担当になったイベントにもよりますが、事前準備が大変でした。前年の委員長さんが引き継ぎの時に前年の資料を用意し、新しい委員長さんに資料を元にちゃんと説明をしないと、話が二転三転することがあり、経験してない人が多いと何から手をつけていいか、わからないという状態があるかと思います。スムーズに準備をする為には、引き継ぎをちゃんとやった方がいいのではないかと思います。それ以外は、イベントにも参加できるし子どもボランティアもあるので、子どもと一緒に楽しく参加できると思いました。そして周りの皆さんもサポートしてくれるし、青少協では貝取小、青陵中の方と今まで話しをしたことがない人と話ができ、輪が広がる事を実感しました。経験してみても良かったです。■仕事をしている立場としては、夜と土日の活動が主なので助かります。が、夜間の集まりには、子どもを夜間置いて行くか、集まりに連れて行かなければならず、小さい子どもがいると厳しいかもしれません。また、行事担当の事前準備に関しては、ある程度指示を待ち行動すればいいかと思っていたけれど、実際には具体的な指示がほとんどなく、直前で慌てたり、どうして良いのかわからず当日を迎えてしまい大変でした。担当以外の青少協委員の方には、当日バタバタした中でお手伝いいただき、非常に申し訳なかったです。誰からの指示で動くべきか、という事がわかっていれば、迷いは少ないのかな、と感じました。正直けっこう大変だったので、来年以降の方には少しでも負担を軽減していただけたらいいと思います。■今まで青少協地区委員会主催のいろんな行事に参加してきましたが、私自身が委員として、主催者側として携わるのは初めてでした。いろいろな裏側を見たことでとても勉強になり、また地域の皆様のご協力あつての行事であることを再認識しました。そういった横のつながりを大切にしながら、今後も伝統行事を続けていけるよう、またお手伝いのできたらいいなと思いました。■イベントの企画や準備、当日の動きなど、青少協委員の仕事は膨大で大変だと思いました。そしてこんなにもボランティア、地域の方々に支えられてイベントが実施されていることに、実際に自分が役員として参加して、初めて気がつきました。感謝しかないです。青少協は大変だというイメージで、役員としての人気は低いですが、実際にお仕事してみると、地域の方々との関わりも増え、楽しかったです。自分たちの為に力を合わせてくれる大人達が居る。この記憶が子どもたちの心に残って、その後の成長の礎となると嬉しいですね。また、大人自身にとっても、これらの活動で、地域がより魅力的になると嬉しいですね。まだ少しありますが、1年間ありがとうございました。■毎月、夜に定例会があり、家に子どもを残して出席したり、行事の準備で何度か集まったり、大変だと感じることもありましたが、いろいろな方々と知り合えて楽しみながら活動することが出来ました。どんど焼きなどの行事が、多くの方々の協力で行われていると改めて感じました。学校、地域の方々、民生委員の方々、おやじの会、ボランティアで参加して下さった皆様ご協力ありがとうございました。青少協の活動は、1年ごとに委員が変わるので初めて行事に関わる方も多く、経験者のサポートが大きな力になっていると感じました。今回、委員として少しですが経験できたので、来年からはボランティアとして参加できたらと思います。一年間ありがとうございました。■青少協役員をさせて頂いて、やらなくては分からない事がとても多くありました。地域清掃を担当させて頂きましたが、全て分からない事ばかりで前年度の委員長さんにとっても助けて頂きました。ありがとうございました。この場をお借りしお礼申し上げます。鉄塔工事の関係からバツ公園の草刈りではなく、広範囲の地域清掃でしたが、大きなトラブルなど無く参加頂いた子ども達も保護者の方々も一生懸命に草を刈りゴミを拾い清掃をして頂きました。地域清掃、ニュースポーツ大会、どんど焼きの大きな3つのイベントは準備から本当にとっても大変で、多くの方々にご協力頂いて成り立っている事を知りました。今後もスタッフやボランティアで関わっていきたいと思います。一年間ありがとうございました。

■貝取地区委員会

■今年度は、初めて青少協になった人が多いメンバーでしたが一年を通して様々なイベントに参加し、出来ないことが有ればカバー仕合えるとても連携がとれたメンバーで活動ができました！ ■様々なイベントが有り大変でしたが、地域の方々との関わりがとても大切だと学べ改めて気づかされる事も沢山ありとても良い経験になりました。■この様なあたたかい地域で育つ子ども達は幸せだと感じますが、近年働くお母さんも増えている現状これだけ沢山の青少協活動を支えていくことが困難と感じ、これからの課題として協議する必要があると感じました。■最後になりましたが年間を通して活動にご尽力頂いた地域の皆様・学校の先生方・役員の皆様1年間ありがとうございました。

No.8 貝取・豊ヶ丘青少協地区委員会だより

バルコニー橋

2019年3月1日

地区委員会の活動

第8回 貝取・豊ヶ丘交流ニュースポーツ大会 (貝取・豊ヶ丘地区委員会共催)

雨のため、校庭での大会は体育館で行う事になってしまいました。グラウンドゴルフを楽しみにしていた人たちは残念がっていましたが、その他のスポーツに汗を流し、最後のジャンケンゲームでは大いに盛り上がりました。この日、小学生ボランティアと中学生ボランティアが大勢参加をしてくれ、用意していたお土産が足りなくなる程でした。来年は校庭で出来る事を願っています。



第32回どんど焼き (豊ヶ丘地区委員会)

2019年1月12日(土)第32回どんど焼きを開催しました。天候の崩れが心配されましたが、昼前に雪がちらついた程度ですみました。今年も、豊ヶ丘小と青陵中の子どもたち、保護者、豊小おやじの会、地域の皆さんの総勢160人を超えるスタッフ、ボラン



ティアの力に支えられた楽しいどんど焼きとなりました。おやじの会と豊小の子どもたちの共同作業で、美しい子どもやぐらも組み上げました。今年の豚汁の具は、多摩市産のおいしい地場野菜です。

ウォークラリー・歩こう会 (貝取地区委員会)

～好天、好友、好散歩～ 2018/11/03 歩こう会に参加して～

青空まぶしい好天でした。こぶし館に着いたのは、集合時間の少し前。もう大勢の人が集まっていて「やあ、久しぶり」「あ、こんにちは」「どっちに行くの」と賑やかです。「歩こう会」と「ウォークラリー」の同時開催のせいか応援スタッフも多く、そこにも顔見知りを見かけました。

ウォークラリーが発着すると、少し静かになりました。こちらもおしゃべりしながら歩き出します。こぶし館の周りの道は良く知っているつもりですが、すぐに見慣れない景色に囲まれ、しばらく歩くと「あ、ここに出るんだ」と気が付いたりします。

そんなことを繰り返して「よこやまの道」に入ると、「この道は全部歩きましたよ」なんて声も聞こえてきました。古い切り通し、土地開発で削られたヤセ尾根などに地域の歴史を感じ、大根や里芋の畑に子どもの頃を思い出しました。「あそこに〇〇が見えます」「これを左に行くと◇◇ですよ」など、詳しい人がそれとなくガイドしてくれます。

要所要所の道路横断では「ウォークラリー」のスタッフに助けられ、幼い子連れのママさん参加者にも笑顔をもらって、いつの間にか帰路に入っていました。「1万歩越した」との声も聞こえ、心地よい疲れも感じる頃、こぶし館に到着。手作りの「とん汁」が気持ちよくお腹に入りました。次回もぜひ参加したい、と感じています。(70代、男性)

◆◆◆ 地 域 の 学 校 の 話 題 ◆◆◆◆◆

豊ヶ丘小学校

第7回 豊ヶ丘の自然学校

平成30年10月26日から28日まで、豊ヶ丘の自然学校を行いました。2泊3日、学校に泊まるビパーク（緊急避難的野外宿泊）体験です。この事業は多摩市教育委員会の協力のもと、国土舘大学ウエルネスリサーチセンターの主催で実施しています。3年生から6年生の希望者が参加します。今年は36名が参加しました。6班の編成にして、班ごとに大学生が2人以上付きましました。今年の特徴は、防災も視野に入れた活動です。水が十分でない場合に、食器を汚さないように食事をするバッククッキングを取り入れました。

バッククッキングはビニール袋にお米などを入れてお湯につけて調理する方法です。器にビニールを広げてその上に麻婆豆腐やカレーのルーをかけるので、器が汚れません。

5回の食事をすべてバッククッキングで行ったので、子どもたちはずいぶん慣れました。

1日目のビパークは校庭を予定していましたが、あいにく雨の予想が出ていたため、場所は体育館に変更して避難所体験です。予想通り夜半前から雨が降りましたが、午前中には雨も上がり、2日目のビパーク場所である学校林の秘密基地づくりを行いました。

2日目の夜はいい天気でした。みんな学校林の中で眠りにつきました。

1日目 16:00 夜	体育館に集合 開校式 自己紹介 夕食準備 夕食 ナイトハイク 寝床の準備
2日目 朝 午前 午後	目覚ましレクリエーション 朝食づくり 学校林に秘密基地づくり 昼食づくり お散歩（鶴牧方面） レクリエーション 学校林の秘密基地でビパーク体験
3日目 朝 10:45	朝食づくり 撤収作業 閉講式 解散



貝 取 小 学 校

地域の方々と共につくる地域に開かれた学校

貝取小は、学校の緑化活動を通して「地域に開かれた学校」づくりを推進しています。

昨年度より、地域と学校による「貝取小学校緑化クラブ」が組織され、2回の「貝取小グリーンデー」が実現し、この取り組みが、「ひょうたん池」の「かい掘り」へと発展しました。春には、エステート貝取2丁目住宅管理組合の方々が、増えすぎた水生植物と水底の泥を除去し、生物のすみかとして池を浄化して下さったのです。

本年度の緑化活動においても、池の環境整備について、引き続きお力添えをいただいております。秋には、ひょうたん池を中心とした「貝取小自然園」を、美しく整備されたすてきな水辺へと変貌させていただきました。地域の方々に心から感謝です！ 学校に地域の方々の手が入ることの教育的効果は計り知れません。今後もこの成果を生かし、「地域へ開かれた地域の学校」であり続けることを大切にします。



青 陵 中 学 校

合唱コンクール

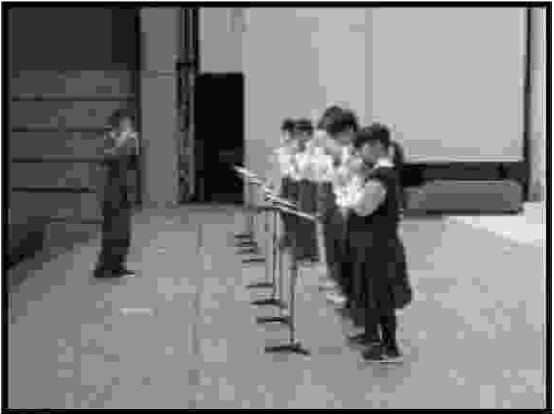
10月25日、秋晴れの中、第11回青陵中学校合唱コンクールがパルテノン多摩で行われました。これまで各クラスそれぞれがたくさんの努力を積み重ねてきた練習の成果を発揮する場。会場に入り、学年合唱練習から一生懸命歌う声を聞くことができ、この1日が忘れられない1日になる予感がしました。改修工事のためパルテノンの大ホールで歌える最後の合唱コンクールでした。どのクラスも素晴らしい歌声を披露し、スローガンである「奇跡の響奏」を響かせることができました。

体育祭の縦割りクラスで行ったリーダー会では、3年生のリーダーたちから、経験を生かしたアドバイスをもらい、実行委員を中心に練習を工夫して取り組みました。

また、1・2年生は3年生の練習を見に行くことがありました。実行委員を中心に自分たちで声を掛け合い、全員の気持ちが一つになって大きな声で歌っている3年生の姿を見て、自分たちとのモチベーションの差を感じたようでした。それからは、パート練習にもさらに熱が入り、口を大きく開けて、より大きな声を出す練習をしました。

日に日に気持ちの込もった歌声が聴こえてくるようになり、本番前日には、どのクラスも金賞を目指して一生懸命に歌っている姿が見られました。本番の合唱は、一生懸命な気持ちが伝わってくる素晴らしい歌声でした。

今回の合唱コンクールで味わった感動や学んだことを忘れずに、これからの中学校生活を送り、来年の合唱コンクールは、さらに成長した姿を見せてくれることを楽しみにしています。



児 童 相 談 所 全 国 共 通 ダ イ ヤ ル

- ・虐待かもと思った時などに、すぐに児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号です。
- ・「児童相談所全国共通ダイヤル」にかけるとお近くの児童相談所につながります。
- ・通告・相談は、匿名で行うこともでき、通告・相談をした人、その内容に関する秘密は 守られます。

